

特254
152



0039298000

0039298-000

特254-152

財団法人福岡養老院事報

福岡養老院

昭和14年度

昭和15

AGI

贈呈

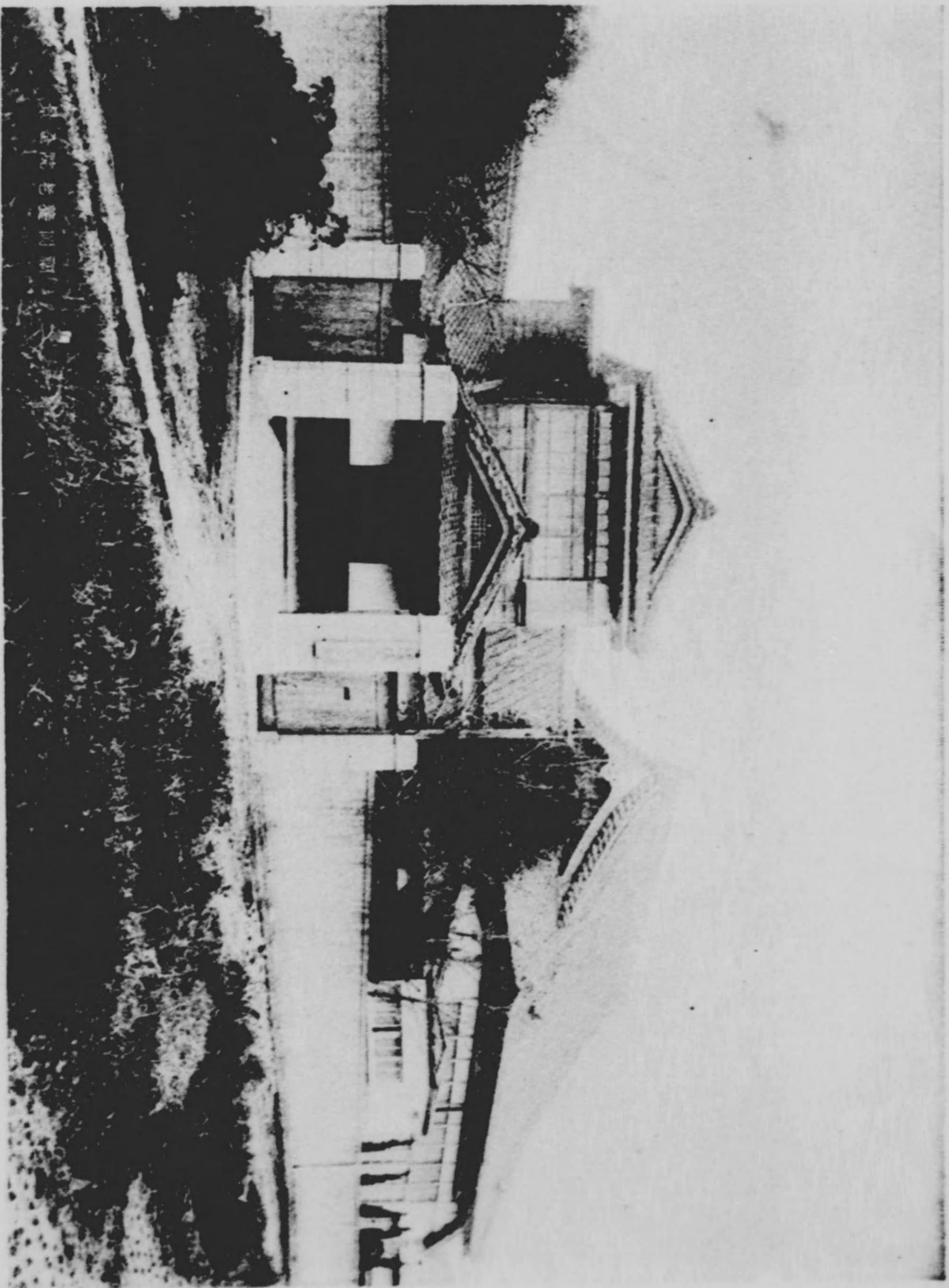
財團法人 福岡養老院事報

特254

152

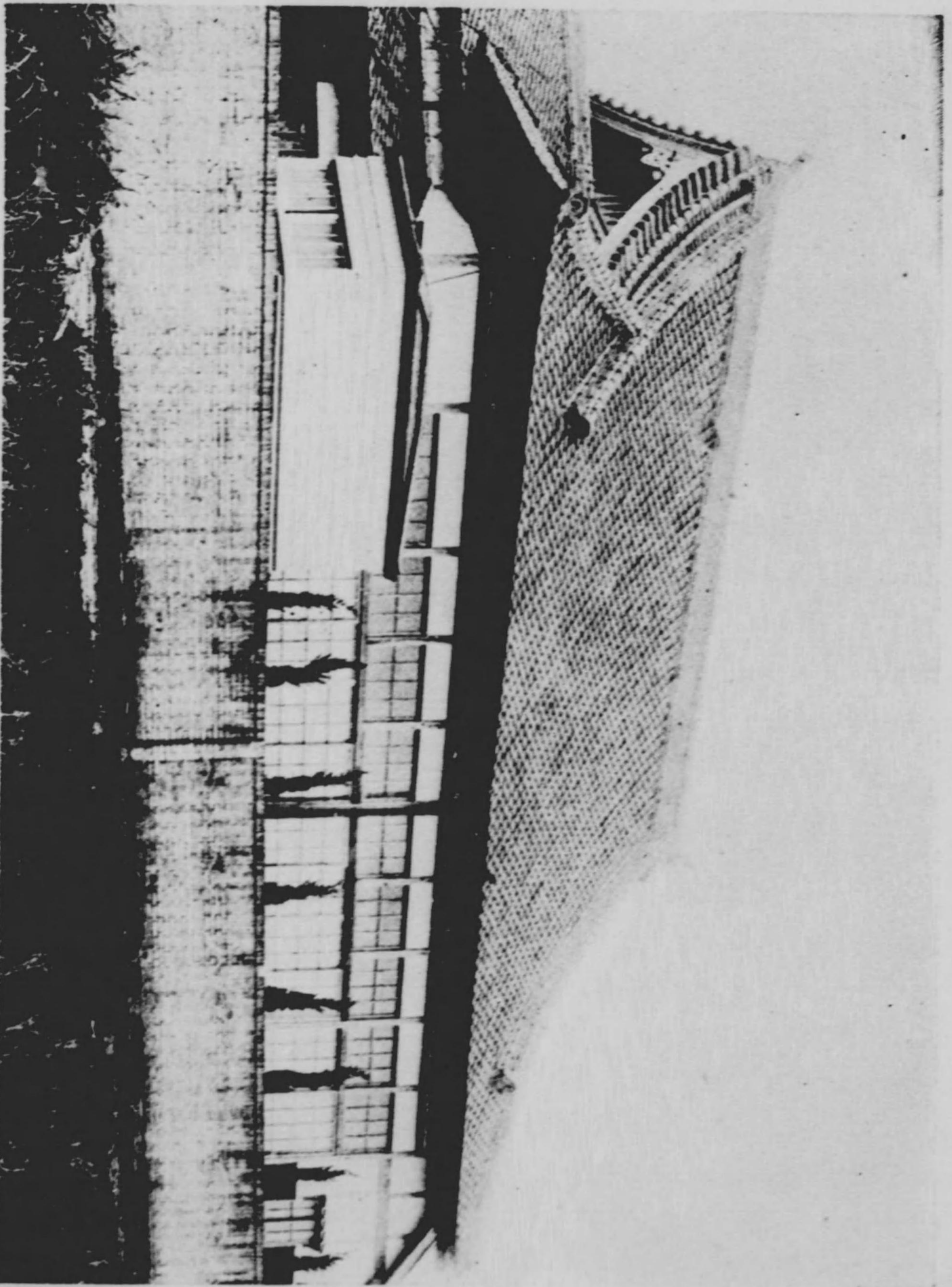
十四年度

特254
152

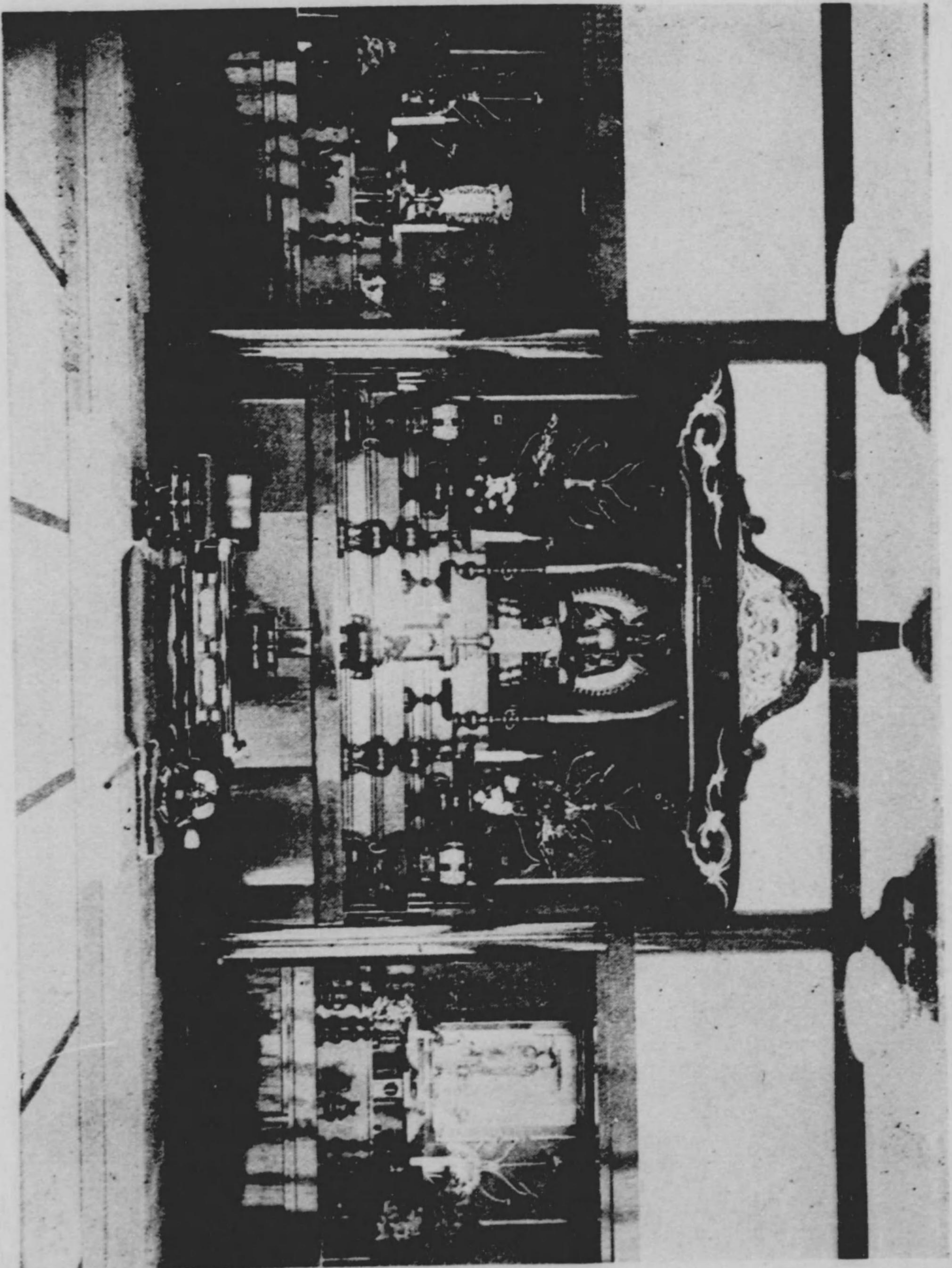


門 正

禮拜堂側面



禮拜堂內陣





御沙汰書

老ヲ養フハ歴朝ノ至孝ヲ天下ニ勸ムル所以ニシ
 ナリ朕即位ノ禮ヲ行フニ臨ミ祖宗ノ遺訓ニ遵由
 シ養老賑恤ノ典ヲ舉ケシム其レ有司ニ命シテ敬
 ミ朕カ意ヲ宣サシメヨ

昭和三年十一月十日



○福岡養老院事業概要

一、設 立 大正十一年十二月一日

一、組 織 財團法人（昭和二年九月七日認可）

一、位 置 福岡市大字平尾六百三十番地

一、目 的 自活する能はざる貧困無告の老癯者を收容し老後の餘生を安靜に送らしむるにあり

一、事 業 本院は前記の目的を達するため左の事業を行ふ

◇收容所を設け老後の安靜生活に必要な凡ての施設をなし左記事項の該當者に限り收容救済す

◇年齢六十歳以上の自活能力なく扶養者なき貧困無告の老癯者にして入院希望の者但無病殊に傳染性疾患なきものに限る

◇救護法の適用を受けたる者にして市町村長より收容救護を依託せられたる者

一、處 遇 收容者中健康なる男子は庭園の掃除菜園の手入婦人は把針掃除等任意の作業によつて身體の運動をこらせ精神的には院長その他の有益なる法話を聽聞せしめて慰安を

與へ安靜なるその日くを送らしむ又病氣にかゝりたる時は十分に醫藥の手當をなし若し死亡すれば葬式は勿論後々の佛事供養も懇ろにして精靈を慰め聖世の恩惠と佛陀の慈悲に浴せしむ

一、維持 宮内省御下賜金、諸官衙慈善財團の補助金、助成金、特志寄附金品、月次寄附金品

勸募寄附金品、基本金利子等

一、設備 敷地總坪數 九百二十五坪

建物總坪數 三百十三坪

禮拜堂 一 收容室 十二室

病室 二 (定員 四〇人)

一、入院手續 救護法に依り市町村に於て被救護者の收容救護を依託せられる場合は戸籍謄本又は救護臺帳寫に依託書を添へ申込むこと

單獨又は紹介に依るものは入院願に戸籍謄本身體検査書添附提出せしめ調査の上入院を決定す

○沿革並に事業概況

一、沿革

大正十一年十二月福岡佛心會の事業として福岡市南港町に民家を借入れ創立、爾來入院希望者の増加に伴ひ擴張し、昭和二年九月、組織を財團法人に改めて經營し、豫て院舎敷地として購入してゐた福岡市大字原は、交通が不便であるから、これを賣却し、交通便利の地を選びて更に院舎建築の計畫を立て、現在の大字平尾に新敷地を購入し、官公署、慈善財團の補助助成、並に一般特志家の寄附により、昭和四年現院舎の新築を竣りて移轉、同七年一月禮拜堂の建設を以て第一期の事業計畫を終つたのであります。然るに一特志家より禮拜堂建築の指定寄附に接したので十年二月よりこれが建築工事に着手し又同年八月病室建築の工事を起し共に十二月落成今日に至る。

一、役員

顧問	古野彰威
理事	高階瓏仙
同 事(院長)	津田利夫
同 事(副院長)	三

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 評 同 監 同 同 同 同 同

議

員 事

佐 吉 南 脇 福 新 山 太 大 福 河 古 樋 茂
 藤 田 條 山 井 井 崎 田 神 井 原 野 口 田
 ハ ハ タ ヨ ト シ ワ シ ュ 英 充 義 一 右
 ナ ツ カ ネ モ ゲ カ ナ キ 雄 彦 雄 二 門

古 藤 金 谷 水 石 甘 谷 河 小 淵 祇 荒 新 梅
 野 島 森 山 島 川 蔗 山 原 簇 園 津 井 田
 彰 長 隆 仙 劍 賢 良 忍 充 仙 厚 長 隆
 威 和 樹 外 城 道 淳 法 彦 陳 乘 淳 七 郎 全

五

四

計	一四		一三		一二		一一		一〇		九		八		七		六	
	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
一一〇 六二	一〇四	七七	六七	一一九	一〇六	八一	九四	六四	七七									
二一〇 五	一一	二〇	一一	一二	一一	〇二	一一	一二	一〇									
七七 七四	八二	四六	五七	四八	六四	六六	九七	三四	一六									
	四二	四〇	三八	三九	三四	三〇	二五	三〇	三〇									

昭和	一五		一四		一三		一二		一一		大正	年次種別
	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六		
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	別性
一九	六七	六二	六四	三五	二二	三六	五七	〇一				入院
〇〇	二〇	二二	一〇	一〇	三二	一〇	一一	〇〇				退院
四五	一四	四四	五三	五三	一一	一三	〇一	〇〇				死亡
三四	二三	一七	二一	二〇	二一	一四	一〇	一				年度末人員

一、昭和十五年度歳入出豫算

第一款 財產收入	六六〇圓
一、基金利息	六六〇
第二款 事業收入	二、〇四〇
一、依託救護料	二、〇四〇
第三款 寄附金	四、二五〇
一、篤志寄附金	三、五〇〇
二、托鉢寄附金	七〇〇
第四款 補助金	二、一一〇
一、國庫補助金	一、一〇〇
二、縣補助金	三〇〇
三、市補助金	二〇〇
五、曹洞宗務院補助金	六〇
六、各種團體補助金	四五〇

第五款 雜收	一六〇
一、雜收入	一六〇
第六款 繰越金	一、〇〇〇
一、前年度繰越金	一、〇〇〇
歳入計	一〇、二二〇

歳出	一、四一四圓
第一款 事務(所)費	八八四
一、諸給費	四八〇
二、需用費	五〇
三、雜費	六、二三六
第二款 事業費	九四八
一、諸給費	三、八八八
二、賄服費	一四〇
三、被服費	一四〇
四、醫療費	一八〇

第六款	第六款	第五款	第四款	第三款	第二款	第一款	第八款	第七款	第六款	第五款
線	雜	公	積	設	維	營	葬	慰	消	備
辰	費	課	立	備	持	繕	祭	安	耗	品
金	費	費	金	費	費	費	費	費	品	費
六〇〇	二〇〇	六〇	七〇〇	二〇〇	二八〇	四八〇	三〇〇	一八〇	四八〇	一二〇

第八款	第七款	第一款	第一款	第一款
豫	線	公	線	線
備	越	課	越	越
費	金	費	金	金
二〇〇	三〇〇	三〇	三〇〇	六〇〇
一〇、二二〇				

○謹告

聖旨優渥昭和十四年末ニ際シテハ特別ノ思召ヲ以テ御下賜金ノ御沙汰ヲ拜シ更ニ紀元ノ佳辰ニ際シテハ左記ノ通り御下賜ノ恩命ニ浴シマシテ恐懼感激ニ堪ヘマセン茲ニ謹ンデ御報告申上ゲマス

今般其事業御獎勵ノ思召ヲ以テ金一封下賜候事

財團法人 福岡養老院

昭和十五年二月十一日

一四

宮内省

一、助成金

金貳百五十拾圓
公債 壹百圓券一枚
金六拾圓

岩崎家助成金
木村家助成金
曹洞宗務院助成金

一、補助金

金壹千壹百圓
金貳百七拾圓
金貳百圓

厚生省補助金
福岡縣補助金
福岡市補助金

一、篤志金品寄附芳名

(自昭和十四年四月十一日
至同十五年三月三十一日)

一金壹千貳百圓
一、生豆腐 百二十丁 毎月十丁宛
一金四圓六拾壹錢
一金貳百七拾參圓八錢
一金拾圓
一、パン澤山
一金參圓九拾七錢
一、罐詰 卅四個
一、木魚すけ坐布團 一枚
一金貳圓
一、鏡餅一重並小餅澤山
一、淺利貝三升並蓬餅澤山
一、折詰四十五個 才花見ノ際

西職人町	荒津長七殿
平尾	江藤千鶴子殿
平尾	野見山殿
住吉	梅田隆全殿
北海道 大夕張	古野信夫殿
	福岡佛教聯合會殿
	博多驛長殿
	福博電車株式會社殿
住吉	大神雪子殿
荒戸二番町	東作太郎殿
西職人町	荒津長七殿
大學通り	三苦ナヲ子殿
	星華婦人會殿

一五

一、折詰 四十個
 一、大饅頭 四十個
 一金參拾圓 御母堂龍セヲ殿供養
 一、飴澤山
 一、生花澤山
 一金拾圓參拾參錢
 一金五圓
 一金貳拾圓
 一、白米 五俵 御令閨殿追福
 一金五拾錢
 一金參圓六拾錢並御花見料理澤山
 一金拾圓
 一、茶一罐並ホグシ煙草澤山
 一金壹百五拾圓 御令閨殿香典返

新柳町 朝日館殿
 東中洲 日本酒類株式會社殿
 鳥飼大坪町六ノ一 木村ヤス子殿
 天神町 箱崎町北部長橋崎秀子殿
 青木三七五 中山路主婦會會長
 新柳町 一丸ノ子殿
 小烏馬場 吉田藤助殿
 香 吉村シマ子殿
 大學通り 三苦トモ子殿
 東京市 籠宮徳子殿
 西新町二丁目 大串陸子殿
 春吉七番町 岩城玄二殿

一金參拾圓 御母堂殿香典返
 一、草履 五十足
 一金壹圓
 一金壹圓
 一金貳拾圓 御亡父殿初盆供養
 一、線香 五箱
 一、禪廿二筋、腰卷三十枚
 一、砥石 二個
 一、ホグシ煙草澤山
 一金參拾圓
 一金壹圓
 一、砂糖 一函
 一、砂糖 一函
 一金拾圓
 一金貳拾圓

馬場頭城南莊 尾野勝美殿
 三宅 小川ヨシ子殿
 新柳町大門通り 森ツネ子殿
 春吉七番町 永田シズエ殿
 東湊町 栗山ミチ子殿
 橋口町 篠山邦雄殿
 蓮池町 福岡星華婦人會殿
 東中洲 岡砥石商店殿
 東中洲三丁目 國府カメ子殿
 若松市 矢野マサ子殿
 渡邊通四丁目 香山佐太郎殿
 間 藤次郎殿
 柴藤行男殿
 白杵良太郎殿
 柳橋 水上作次殿
 渡邊通三丁目

一、冷麥 一函
 一金貳圓並燈籠一對
 一金五圓並ホグシ煙草一函
 一金貳拾五圓 清心院殿五十年忌供養
 一金貳拾圓
 一金壹圓
 一金壹圓五拾錢
 一金壹圓
 一、砂糖一函並燒アゴ澤山
 一、寒晒 一函
 一金四圓
 一、砂糖一函並石鹼一函
 一、砂糖一函並鹿兒島漬一個
 一金五拾圓 御尊父殿外年回供養
 一、燈籠十函、冷麥一函

平尾市崎野
 紺屋町松島伊平殿
 東中洲川丈旅館長尾イセ子殿
 平尾猪俣トキ子殿
 原ノ町清水大藏殿
 八幡市吉松ツヤ子殿
 八幡市吉村亦三郎殿
 粕屋郡須惠村吉松卯一郎殿
 平尾松本竹多殿
 平尾竹田岩雄殿
 平尾谷口イチ殿
 平尾埴村德次郎殿
 平尾新柳町大門通り田中澤嗣殿
 馬出三角大穗彌太郎殿

一、白米 一俵
 一、白米 一俵
 一、煙草澤山
 一金壹圓
 一金壹圓
 一金貳圓
 一金五圓
 一白米 一斗 御令閨殿一周忌供養
 一金五圓
 一金五圓
 一、饅頭 四百個
 一金貳百圓 米壽自祝
 一金拾圓
 一、藻布團一枚、敷布二枚、其他種々
 一、煎餅澤山

博多常盤館柴藤タカ殿
 東京市青山南町梅田健一殿
 東中洲川丈旅館長尾イセ子殿
 極樂寺町松本キシ子殿
 濁リ池安部ミネ子殿
 柳原三ノ二五石井豊吉殿
 地行寺町内田美喜子殿
 藥院古烏濱田喜市殿
 福岡女子商業學校西岡ミドリ殿
 西新町太田イソ子殿
 浪人谷山下キタ子殿
 古小路松下彌壽子殿
 八幡市渡邊與三郎殿
 東小性町山際徳次郎殿
 南湊町柴隈御夫人殿

- 一、衣類澤山
- 一金貳拾圓並繪入蠟燭二對
- 一金五拾圓 御尊父殿菩提
- 一金參百圓 御子息殿菩提
- 一、冷シ麥 一函
- 一、ホグシ煙草澤山
- 一、ホグシ煙草澤山
- 一金五圓
- 一金貳拾圓御 母堂殿年回供養
- 一金五圓
- 一、砂糖 一函
- 一金壹百圓

健徳院殿百年忌 釋孝義童女百五十年忌 供養

南 湊 町	渡邊通二丁目	今 泉	西 職 人 町	東 湊 町	荒戸三番町	西公園一ノ鳥居角	露 切 町	新 柳 町	寺 塚	住 吉 町	大 名 町	岩田屋テバート	濱 ノ 町	尾
林 田 平 八 郎 殿	土 屋 靜 子 殿	武 谷 剛 毅 殿	犬 塚 三 郎 殿	栗 山 ミ 子 殿	井 島 殿	廣 木 イ ヨ 子 殿	熊 谷 友 次 郎 殿	大 塚 基 弘 殿	谷 山 仙 外 殿	東 林 寺 御 夫 人 殿	松 本 磯 菜 殿	中 牟 田 喜 兵 衛 殿	尾 形 殿	

- 一、淺利貝澤山
- 一金五拾錢
- 一、衣類澤山
- 一金拾圓 玄山卓道信士卅三回忌供養
- 一、ホグシ煙草澤山
- 一金參拾圓
- 一金參圓
- 一金拾圓 香薫禪童女供養
- 一、野菜澤山
- 一、野菜並果物澤山
- 一金五圓六拾七錢
- 一、洗濯物 三着分
- 一、野菜並果物澤山
- 一金貳圓
- 一金壹圓

香 椎	鳥飼一丁目	東 湊 町	上 名 鳥 町	上 新 川 端	平 尾	住 吉	下 店 屋 町	大 學 通 り	天 神 町	六 月 田 町 七	西 養 巴 町	平 尾	藥 院 西 川 端	馬 出
藤 崎 幸 子 殿	井 上 申 志 殿	栗 山 ミ 子 殿	小 田 六 郎 殿	紀ノ國屋御婦人御中	八 澤 ヒ ロ 子 殿	江 藤 ト ヨ 子 殿	速 水 花 子 殿	三 苦 ト モ 子 殿	日 本 メ ソ チ ス ト 會 殿	大 村 平 太 郎 殿	渡 邊 市 兵 衛 殿	福 岡 女 學 校 殿	野 守 ト ク 子 殿	新 谷 ア サ 子 殿

- 一金壹圓
- 一金參圓
- 一金五拾錢
- 一、白米一俵 指月院殿供養
- 一金五拾圓 御尊父殿追福
- 一金壹圓
- 一、電氣按摩器 一個
- 一金五拾圓 御亡夫殿香典返シ
- 一金貳圓
- 一金壹圓
- 一金參圓
- 一金壹圓
- 一金拾五圓
- 一、藁布團 一個
- 一、木炭 一俵

朝鮮安東 畑生ナヲ子殿
 博多驛前 川野イト子殿
 博多驛前九軌市場 西島清藏殿
 東通町四六 古賀徳次郎殿
 荒戸三番町 吉田良彦殿
 極樂寺町 松本キシ子殿
 東京市 三井報恩會殿
 馬出本町三丁目 柴田ハル子殿
 香椎 藤崎幸子殿
 地行七番町 今村トヨ子殿
 地行東町 時枝モト子殿
 今泉 森 殿
 西中洲 原田富吉殿
 下警固 的野繁殿
 藥院八反田 村上五平殿

- 一、白米 一俵
- 一、野菜澤山
- 一金五拾圓並菓子一函 御子息殿追福
- 一金五圓
- 一、衣類澤山
- 一金五圓
- 一、白ネル腰卷 四十二枚
- 一金拾圓並菓子一函
- 一、乾物詰合 一函
- 一、果物澤山
- 一、鮭 一本
- 一、石鱸 一函
- 一、鏡餅十重、小餅三百五十個
- 一金五圓
- 一金五拾錢

紺屋町 結城富吉殿
 大學通 三苦とも子殿
 下新川端町壽通り 福井副雄殿
 朝倉郡志波村 女專校友會禮會殿
 本田ハナ子殿
 千代町妙見 渡邊ミネ子殿
 福岡星華婦人會殿
 東京市 高階瓊仙殿
 柴藤行男殿
 野中殿
 竹田岩雄殿
 光延藤藏殿
 福岡佛教婦人會殿
 福岡佛教女子青年會殿
 谷口濤駿殿
 廣橋正子殿

- 一、野菜澤山
- 一金貳圓並揚豆腐七枚、里芋澤山
- 一、才煮ノ澤山、數ノ子一函、蒲鉾七本
- 一金壹圓並小餅百個
- 一、鏡餅 三吠
- 一、商品券一枚並茶一罐
- 一金拾圓
- 一、掛布團二枚、敷布團一枚、丹前二枚
- 一金參拾圓
- 一、丸切觀世麩 十五袋
- 一金五拾圓
- 一金五拾圓 御尊父殿香典返
- 一、ホグシ煙草澤山
- 一金拾圓
- 一金貳拾圓 御亡夫殿菩提

平尾 入江 甚次郎殿
 藥院町 松島 伊平殿
 春吉七番町 宗 德次郎殿
 春吉七番町 永田 シズエ殿
 材木町 安國寺殿
 大日本國防婦人會唐人町分會西町中央班
 上名島町 某御夫人殿
 平尾 八尋 ヒロ殿
 平尾市崎町 淺山 榮吉殿
 東京市 全國養老事業協會殿
 鍛冶町 小林 吉右衛門殿
 荒戸町一ノ鳥居角 廣木 イヨ子殿
 寺中本町六六七 田邊 逸郎殿
 中庄 江口 タカ子殿

- 一、ホグシ煙草澤山
- 一金壹圓
- 一、蓄音器レコード 拾枚
- 一、ホグシ煙草澤山
- 一金五拾錢
- 一金五圓
- 一、衣類澤山
- 一、餅 一吠
- 一金五拾圓 御母堂殿御遺志
- 一金壹圓外饅頭五百個
- 一金五拾錢
- 一金參拾圓 御令閨殿供養
- 一金貳拾圓
- 一、ホグシ煙草澤山
- 一、衣類十六枚、間着十二枚、下着九枚
- 座布團八枚、小物六點其他

川端町 紀ノ國屋御婦人殿
 濁り池 安部 ミネ子殿
 西公園電停前 原野 イソ子殿
 荒戸町 中尾 ハル子殿
 荒戸町 東トヨ子殿
 柳原一丁目 山 糸田 小學校殿
 田川郡糸田村 糸田 小學校殿
 朝倉郡志波村 本 田 哲雄殿
 新柳町 一丸 ノブ子殿
 新柳町 大 正 樓殿
 春吉上四十川 田 口 源次郎殿
 某 田 口 源次郎殿
 東中洲二丁目四〇 國 府 カメ子殿
 縣立福岡高等女學校殿

馬出

柴田 はる子殿
大穂 みき子殿

同 箱崎町

妙 徳 寺殿
坂本 久三郎殿

三四

○養老に付御願ひ

當院は御聖旨を奉戴し、佛心を流漏して年老いて體は衰弱し自活の途は無くそれに身寄りもない憐れな老人の爲に温かい扶養と慰藉とを恵み、明るく氣持よく餘生を送らせたいと私共はそれ等の人々の味方となりて努力はしてゐますが到底小數の者の微力の及ぶ所のものでは無いのです。

凡そ賑恤救濟の事業は多種多様であります中にも、取わけ寄る邊なき老人救濟事業は惠恤の第一義であります又極めて難事業であります。併し老年者を敬愛することは聖旨を奉ずる我が國民性の美德であり、又お互に共存する以上同情愛護せねばならぬと思ひますので、御幸福な皆様の御同情にすがりお力添へを願ひ致したのであります。

○あなた方のお味方を

御慈愛溢るゝ皆様方へこの事業のお味方を頂き左のお力添へを願ひしつゝあるのであります。

どうぞお一人でも多くの御加入を。

金ならば

一口毎月拾五錢……以上何口でも

お米ならば

一口毎月五合……以上

○右勝手ながら兩方とも願ひが出来ますれば誠に仕合に存じます

○御都合に依り幾月分、又は一年分と一時に纏めて頂くことも結構であります

右何れでも御承諾下さればこちらよりお頂きに伺ひます

○基本金に付御願ひ

本院創立後日尙淺く且つ財界永年の不況のため辛うじて経営中にて、まだ〳〵財政の基礎も確立するに至らず、爲に今後の経営上に於て實に心細い次第であります、就ては當初よりの目的凡そ拾萬圓を限度として基本金を募集したいのが懸命の念願であります。

そして基礎の確立経営上の安定を得るに従ひ諸般の設備も完成し以つて本院の大使命を全うせんことを期するのであります。大方各位深甚の御同情を賜り念願の達成に援助せられんことを御願ひ

致します。

○福岡佛心會々報

◎講演會並參禪會

山田靈林師招聘左記の通り坐禪を中心としたる講演並參禪會開會參加者無慮三百名非常な盛會裡に散會した。

禪學講演會(聽講無料)

一、講師 山田靈林師

一、演題 人生行路を禪に聞く

十一月廿七日 福岡市記念館にて
午後七時より

一、時と所

十一月廿八日 午後七時より
十一月廿九日 午後七時より

市内材木町安國寺にて

參 禪 會(坐禪と提唱)

一、指導 山田靈林師

一、日時

十一月廿八日 午前六時半より午前八時迄
十一月廿九日 十一月卅日

一、場所 材木町 安國寺

一、會費 一金貳拾錢(朝食に淨粥を差上げます)

(注意) 食事準備の爲十一月廿七日迄に葉書なり電話なり便利な方法で事務所迄御申込み下さい。定員二百名を越すとメ切ります。會場からすぐに學校なり會社なりに出勤出来ます。

◎成道會

福岡市内曹洞宗各寺院住職並會員多數出席參禪會開催大聖釋尊大悟の故事を偲び有意義に一夜を過した。

○星華婦人會の行事

◎慰問日 毎月二十九日は晴雨に拘らず市内曹洞宗各寺院の住職方や會の幹部を初め會員多數の慰問に與りますので入院者一同此の日を待ちわびて居ります。

當日の行事讀經、法話、慰問菓子煙草等の贈與

◎養老院慈善鉢 星華婦人會主催のもとに十一月五日、同六日の二日間に亘りて誦經の聲も嚴かに、安國寺、明光寺をはじめ曹洞宗九ヶ寺の方丈雲納方總動員の先達につれ隨喜の御婦人方が甲斐々々しい足ごしらへで市内を廻られました。頼りない憐れな老人たちのため燃立つお情けの鉢は有難くも亦尊い極みでありましたが、中には七十歳からの御老人も参加せられての御鉢はまことに涙ぐましい次第で、二日目にはお腰が痛く足取りも随分お疲れの方も見受けられ痛はしくも亦床しいことでありました。寄附金は寄附米其他と共に直に養老院に寄附されました。其の日の點心茶菓子お供養芳名

萬町

菊 饅頭店殿

新柳町

大正 樓殿

○希望のかずかず

◎身寄りのない憐れな老人で知る邊々を頼寄りて世話を受け又は組合等で日々生活の救護はしてゐても一朝病氣にでも罹ると世話する方も世話を受ける人も大抵な苦痛でないので相當機關の救済によることは双方の幸福だと思ひます。御地方に右様な不幸の老人が有りますなら入院の出來

る様に御盡力をお待ちしてゐます。又救護法による被救護者で適當の救護施設のないのに困つて居られる市町村もあるやうです。本院は不充分ながら一通りの設備はしてゐますのでこれを御利用下さいまして救護を御依托になれば是又救護される人も救護する側も好都合だと思ふのであります。

◎養老院では外出することが出來ないかの様にいはれてゐますが、絶対に出さないのではありません。養老院收容の老人はすでに大概は耳が遠いとか、眼が薄いとか、そしてしよぼくとして電車に乗るときは車掌の保護を受け自然は外の乗客にも御迷惑をかけ其の他自動車、自轉車等のため過ちのないやうにと思ひ、徒らな外出は許さないのに過ぎません、止むなき用事の外出は差支へないのであります。

◎養老院に入ること非常に不名譽に思つて日々の苦痛を忍ばれる人もある様ですが、何かの因縁で兄弟や子供に別れ唯一人生残つてゐることは一つの運命なので、時と場合決して不名譽といふものではありません。

願くば相愛同情に基き貧しきを助け弱きを憐れみ出來る丈多くの憐れな人々へ本院の目的たる救の手を伸さして頂く様御援助下さることをのぞみます。又各學校、處女會、主婦會等に於て各種見學のため旅行せられる場合敬老賑恤の觀念をも教養せられる一助として御參觀下さることを希

望致します。

○感謝

◎福岡日日新聞、九州日報の兩新聞社は夙に福岡佛心會並に本院の事業に多大の同情を表せられるのみならず、常にその貴重なる紙面を割愛して、佛心會並に本院に關する各般の記事を掲載して多大の援助をお與へ下さつてゐます。

◎福岡市古濱町醫學博士三宅重徳氏、須崎裏町醫師江口近次郎氏は本院事業に對し格別の御同情を寄せさせられ御繁務中にも拘らず收容者のため奉仕的に御治療を頂いてゐます。

◎市内藥院山崎理髮館は毎月一回若くば二回休業日を利用來院され收容者のため無料にて理髮奉仕を頂いてゐます。

右各位の深甚なる御同情に對し厚く感謝致します。

昭和十五年六月五日印刷
昭和十五年六月十日發行

福岡市大字平尾六三〇番地

財團法人

福岡養老院

電話西五一七七番
振替福岡一八三四九番

發行人兼編輯人

主事 古野 義雄

印刷人

福岡市渡邊通り四丁目 藤次郎

印刷所

福岡市渡邊通り四丁目 秀巧社印刷所

407
118

